

焼津市立焼津東小学校いじめ防止基本方針（令和8年度）

【PTA・地域との連携】

- ・保護者との日常的なつながり
アンケート・面談・学校だより
- ・学校運営協議会委員との連携
- ・校内見守り隊
子供の様子を日常的に見てもらう。
- ・交通安全の旗ふり
挨拶、交通安全の声かけ

【校内研修等】

- ・児童理解研修をSCやSSW心の相談員と共に行い、全校で共通理解していく。
- ・いじめ防止研修会を行い、いじめの子兆を見逃さない意識を持つ。
- ・学びを実感できる授業を目指す。
- ・授業の中で自己肯定感、学び合いの力を育てる。

【目指す子ども像】
やってみよう！～自分でみんなで もう一歩～

- ・失敗やまちがいを恐れず 自ら挑戦する主体性&レジリエンス
- ・自分も相手も大切にする子
- ・目指す姿を共有し、仲間とよりよくしようと行動する子

【学校いじめ問題対策委員会】

- ・校長、教頭、教務主任、生徒指導主任、学年主任、養護教諭
- ・定期的に開催すると共に、必要に応じて緊急会議を開く。
- ・具体的事案の状況に応じて学級担任、心の相談員、支援員、SC、SSW等が参加しながら対応する。

【生徒指導体制】
子供の心を受け止める体制づくり

全校職員の児童理解の上、学年主任会
二部会（心・仲間づくり部、学びづくり部）・学校いじめ問題対策委員会
特別支援推進委員会・教育相談等 活用し取り組む。

【関係機関等】

- ・焼津市教育委員会
- ・子ども支援課「あゆみ」
- ・家庭支援課「きずな」
- ・こども相談課、こども家庭センター
- ・焼津市青少年相談センター
- ・焼津市警察署
- ・中央児童相談所
- ・SC、SSW
- ・焼津市立病院

【教育相談体制】
「いつでも何でも誰とでも」
相談できることを発信し意識付ける。

- ・相談室の解放
- ・保護者にSC来校日の周知
- ・心の相談員やSCと子供たちの顔合わせ

【未然防止の在り方】

- ・「自分も相手も大切にする」
人間関係力育成を教育活動全体で実施する。
- ・あたたかな言葉で育てる
教師も子供も気持ちのよい挨拶に取り組むことで、自分の居場所があり、みんなでがんばれる学校や学級を目指す。
- ・交流や体験的な活動等を通して、協調や協力の大切さを実感できる場作りに努める。
- ・黒潮っ子レジリエンス（県版SEL）を実施し、しなやかであきらめない心の力を培う。
- ・学級会や道徳でいじめについて考える場を設け、いじめのない温かな人間関係を築いていこうという気持ちを育てる。

【早期発見の在り方】

- ・児童が発する小さなサインを見逃すことのないよう日頃から丁寧に児童理解を進める。
児童の活動や日記等から心の変化をつかむ。連絡帳等により、家庭からの情報を得る。
- ・「いつでも何でも誰とでも」相談できる体制を整える。
心の相談室
スクールカウンセラー
- ・週1回、特別支援コーディネーターを中心に支援員を含めて支援会議を開き、情報の把握や共有に努める。
- ・「こころのアンケート」の実施
- ・「黒潮っ子天気」の実施
- ・いじめを認知したら、「つなぐんシート」で生徒指導主任に連絡し、全体での共有・対応を進める。

【早期対応の在り方】

- ・迅速な組織対応
いじめや問題行動を把握したら、学校いじめ問題対策委員会を招集しケース会議を行う。多方面から情報を収集し、いじめの全体像を把握し、具体的な対応方針や指導計画、役割分担を決定する。心の相談員やSC、SSWとも連携し、問題解決のための助言を得る。解決に向け、子供の支援、指導、保護者への対応を適切に行う。
- ・外部機関との連携
いじめ認知後は、教育委員会へ第一報を入れ、連携相談し事例に応じ、子ども支援課、こども家庭センターなどと連携を図る。

【継続支援の在り方】

- ・いじめが解決するまで、いじめ対策委員会を中心に継続的にケース会議を行う。
- ・いじめを受けた児童、保護者に対する支援及びいじめを行った児童、保護者に対する支援、教育相談を継続的に行う。
- ・月例報告でその経過を焼津市教育委員会へ報告する。
- ・記録を残し、今後の継続支援に活かす。
- ・指導や対応の見取り
「こころのアンケート」
(いじめアンケート)年5回
「保護者に向けた学校評価アンケート」年1回を行う。
「黒潮っ子天気」毎週2回以上

【重大事態】「焼津市いじめ防止等のための基本方針」に基づき、事実確認の結果を直ちに焼津市教育委員会に報告し、連携し対処する（24時間以内）。

焼津市立焼津東小学校 いじめ防止対策年間計画（令和8年度）

	①組織・連携・点検・評価等	②未然防止	③早期発見・対応 と継続的支援
4	【P】 学校いじめ問題対策委員会で学校基本方針を策定 【P】 生徒指導研修で基本方針を周知	【D】 あたたかな言葉（なかまづくりステージ）を各学級で意識する 【D】 ようこそ黒潮っ子集会 【D】 黒潮っ子レジリエンスガイダンス実施① 【D】 県版SEL実施①（4/13～17）	【D】 黒潮っ子天気、健康観察、連絡帳、日記等による観察 【D】 個別のケース会議の開催 【D】 日常的な先生方による情報共有
5	【D】 校内就学支援導委員会で実態把握① 【D】 SCと先生方で情報交換 【C】 こころのアンケートの実施① 【D】 児童理解研修で実態把握 【D】 学校運営協議会で情報共有	【D】 運動会に向けた学年・異学年の活動	【D】 自宅確認 【D】 支援会議
6	【D】 小中合同研修会	【D】 県版SEL実施②	【D】 アンケートの確認と対応 【D】 支援会議
7	【C】 学校教育活動アンケート 【A】 アンケートの点検、評価 【D】 校内就学支援委員会で実態把握② 【C】 こころのアンケートの実施②	【D】 保護者面談 【D】 なかまづくりステージ振り返り	【D】 支援会議 【D】 アンケートを受け、面談等の指導
8	【D】 生徒指導 or 特別支援研修	【D】 保護者面談 【D】 あたたかな言葉（ちょうせんのステージ）を各学級で意識する	【D】 支援会議
9	【C】 こころのアンケートの実施③ 【D】 校区の教育を語る会で情報共有		【D】 支援会議
10	【D】 校内就学支援委員会で実態把握③ 【D】 防災連絡会で情報共有	【D】 県版SEL実施③ 【D】 スマホタイ講座（保護者や児童）	【D】 支援会議
11	【C】 こころのアンケートの実施④	【D】 道徳・学級会でいじめ教材の活用 【D】 学校保健委員会（しなやかな心について）	【D】 支援会議 【D】 アンケートの確認と対応
12	【C】 学校評価アンケート 【A】 アンケートの点検、評価 【D】 校内就学支援委員会で実態把握④	【D】 黒潮っ子フェスタ&マルシェ 【D】 ちょうせんのステージ振り返り	【D】 支援会議 【D】 アンケートを受け、面談等の指導
1	【C】 こころのアンケートの実施⑤	【D】 あたたかな言葉（はばたきのステージ）を各学級で意識する 【D】 県版SEL実施④ 【D】 エコ・キャップ祭り	【D】 支援会議
2	【D】 学校運営協議会で情報共有	【D】 6年生ありがとう集会	【D】 支援会議 【D】 アンケートの確認と対応
3	【A】 アンケートの点検、評価	【D】 はばたきのステージ振り返り	【D】 支援会議 【D】 アンケートを受け、面談等の指導
			【D】 SC・SSW 来年度の引継ぎ

ケース会議は随時行う
つなぐんシートの活用

※「②未然防止」として、日常的に授業を通して生徒指導を機能させる。

また、「黒潮っ子はみな兄弟、東小はみな家族」を合い言葉に同学年・ペア・異学年の交流を進めていく。